

JOB REPORT

超高揚程水中ポンプ K-342(水中タービン仕様)納入

現在建設中の九州新幹線(博多～八代)におけるトンネル工事、ピア建設が終わろうとしています。現在まで、各現場において各種多彩な水中ポンプが投入されてきました。

この度、灌漑用水補償給水設備として前田・大日本・松尾・中野 九幹鹿、筑紫T(河内)JV様より水中タービンポンプの検討依頼がありました。

仕様は、揚程62m、吐出し量 $3\text{m}^3/\text{min}$ の性能とし、堅牢性に富む水中ポンプであること。清水用水中ポンプではポンプ室の耐磨耗性に若干の不安要素があり、土木用水中ポンプの要素を含んだタービンポンプを必要としました。

電動機出力は55kWベースとし、インペラ材質は高クロム鑄鉄焼入れ、ケーシング材質はFCD500とサンドポンプに使われる材質が採用されました。

今後、灌漑用水中ポンプとして、周辺田畑へ新幹線構内の湧水の供給が行われます。



● 水中ポンプ仕様

- 形 式 K-342(水中タービン仕様)
- 口 径 200mm
- 電 圧 3相400V 60Hz (Y-△始動)
- 絶縁階級 F種
- 全 揚 程 62m
- 吐出し量 $3\text{m}^3/\text{min}$

● 納 入 先

- 前田・大日本・松尾・中野 九幹鹿、筑紫T(河内)JV
新幹線筑紫作業所殿